

練二通信

No 397

令和2年5月13日

練馬第二小学校

校長 濱中 一

『命』の教育

校長 濱中 一

新型コロナウイルス感染防止対応のための臨時休業、家庭での学習、連絡・配布物対応等、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、ご理解ご協力いただき深く感謝申し上げます。

命の大切さが叫ばれる中、学校教育における「命の大切さ」について見つめ直してみました。本校の教育目標やスローガンには『命』という言葉はありません。しかし、本校の教育の基調には「命の大切さ」が確実に流れています。

まず、本校の教育を支える基盤は「安全・安心」です。最優先は子供の生命・安全・健康。いじめ・体罰・事故の未然防止、子供の安全意識と実践力の育成、安全な施設の整備、来校者の管理を確実に行うことで、安心して通える学校、安心して通わせられる学校にしなければなりません。これらはまさに『命』を大切に作る学校づくりです。例えば昨年度より、「うざい・きもい・死ね・消えろの言葉禁止」「苗字の

呼び捨て禁止」に取り組み、相手を大切に

にする心、自分を大切にすることを育んできました。他にも、本校独自の月一回いじめアンケート、動物や植物の命を育てる学習、地域の皆様の温かい心に支えられた特別授業、命に感謝していただく食育、登校班や地域の方々による登下校の見守り、あいさつ運動や縦割り活動でのふれあい、等々。今年度も様々な学びの機会をとおして、『命』を大切に作る子供を育てていきます。

さて、昨年の九月には猛烈な台風が通過した時、風雨は凄かったものの、身近に大きな被害はほとんどありませんでした。子供たちはテレビ等の映像で被害の甚大さを知ることができましたが、人々の苦しさや命の大切さまでは、どれだけ実感できたでしょうか。昨年の台風被害、過去には熊本地震、西日本豪雨、東日本大震災、中越地震、子供たちが実感しきれなかった、また、時を経て風化してしまいがちだった出来事を、私たち教師は、被災さ

れた人々の心、『命』の大切さの視点から子供たちに繰り返し伝えてきました。人々の気持ちを想像する経験を重ねることで、感じる心を磨き、自分にできることを考えることができる子供たちを育ててきました。目の前にコロナウイルスの大きな壁が立ちちはだかる今、『命』を大切にすればこれからの育みが、広い視野で考え、今すべきことが何かを適切に判断し、よりよく行動する子供を育てることにもつながると思うのです。

今年一年間、『命』の大切さに立ち戻りながら、練二小の子供たちを育んでいきたいと考えています。

さて、五月二十五日は本校の開校記念日です。昭和十八年に練馬尋常高等小学校（現在の練馬小学校）から独立して以来、今年で七十七年。餅つき大会や貫井囃子の伝承、昔遊びやお米作り、伝統文化体験の指導をはじめ、毎日地域の皆様の温かい眼差しで見守られ、本校は発展してきました。この記念日を、地域の皆様に感謝し、よき伝統を守ることに素晴らしさを考える機会にしたいと考えています。今年も子供たちが、地域の方々とおふれ合い学び、夢をもって成長できるように、どうぞご支援ください。

学校連絡メールテスト送信

五月十八日（二十日）に、学年ごとにメールのテスト配信をします。今後学年ごとに連絡する場合がありますので、全てのお子様の学年に登録をしてくださいます。

みんなで乗り越えてまいりましょう

副校長 橋本 誠之

今なお、目に見えない新型コロナウイルスの勢いは収まらず、区立小中学校の臨時休業が五月末まで延長されました。保護者の皆様におかれましては、お子様の生活や学習においてご協力いただき、心より感謝申し上げます。引き続き、不要不急の外出を控えていただき、濃厚接触等にも十分お気を付けてください。

感染の収束の見通しが立たない中、お子様の心身の健康面、学習面の不安も大きくなつて来ていることと思います。学校では、本日、学習課題を配布いたしました。今後は現学年での学習内容を中心とした課題となります。週ごとの学習予定を提示しておりますので、各ご家庭で参考にしてください。計画的に進めていただければと思います。

今後、毎週、担任からご家庭に電話による状況確認の連絡をいたします。保護者の皆様には、ご負担をおかけしてしまうこともありますが、不安なことや学習内容で分からないこと等がありましたら、遠慮なくお問い合わせください。

学校再開後には、子供たちが安全で安心に学校生活を再開できるよう準備を進めております。今後ともご協力をよろしく願います。

保健関係のお知らせ

定期健康診断等については「保健だより」等でお知らせします。お知らせをよくご覧いただき、提出物などは確実に期日までにご提出ください。